投　稿　規　定

投稿資格　本誌に投稿するものは原則として本会会員に限る。

投稿内容　本誌には原著論文，症例報告，総説等を掲載する。これらは未発表のものに限り，他誌との二重投稿は認められない。

臨床研究の成績発表を旨とする論文は，文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成27年４月１日）を遵守し，患者プライバシーを十分に守る。また，必ず施設内審査委員会（IRB）もしくは倫理委員会（REC）の承認を得たうえで，本文にその旨を明記（IRB番号など）して提出する。

症例報告には個人が特定されない配慮が要求されるが，倫理委員会の承認およびインフォームドコンセントは必ずしも必要とされない。但し，10症例以上を対象に研究される場合は，倫理委員会の承認を原則必要とする。

上記に関する詳細は下記を参照すること（平成29年３月現在）

○世界医師会「ヘルシンキ宣言」

○「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成27年４月１日）

その他，疫学研究や遺伝子解析等の研究に関しては下記を参照すること

○「疫学研究に関する倫理指針」（平成19年文部科学省）

○「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」

○「遺伝子治療臨床研究に関する指針」

○「生命倫理・安全に対する取組」（平成19年文部科学省）

原　　稿

1）用語は，和文，英文のいずれでもよく，和文の場合は，横書き，口語体，平がなを用い，現代かなづかいによる。

2）数字は算用数字を用い，計数の単位はメートル法に従い，km，m，cm，mm，L，mL，kg，g，mg，μg のように記載し，ピリオドは省略する。

3）論文の記述の順序は表紙に標題，所属，共著者名（日本語，英語），２頁目に概要（邦文800 字以内）とキーワード（日本語５つ以内，英語３つ以内），３頁目に英文抄録 200語以内（double space で入力のこと），４頁目以降に緒言，方法，成績，考察，文献，図の説明の順に記載する。

4）略語は初出時に正式語をつける。英文略語は初出時に正式語と日本語訳を併記する。

5）図表を他誌，他書より引用する場合（著者自身の既発表論文の場合も）は，必ず出典を明示し，以下の文献引用の記載に従って明記する。

6）図のタイトルおよび説明は論文の最後の項目として記載する。表にはタイトルおよび説明を記入する。図表の説明は必ず本文と同じ言語とし，図表中の文言も原則として本文と同じ言語とする。図表は本文中には貼り付けず，必ず１枚ずつ別紙にて提出する。

7）本文中では引用部位の右肩に文献番号[1,2]を付ける。引用文献は，末尾に一括して引用した順に掲げる。雑誌の場合，著者名全員．題名．誌名　年；巻：始めの頁－終わりの頁．の順とする。単行本の場合，著者名全員．題名．書名（英文は In：書名），編者名，発行所，所在地；年：始めの頁－終わりの頁．の順とする。次の記載法による。

Presented by Medical*Online

1）西川　鑑，明石祐史，林　巧，二瓶岳人．エジンバラ産後うつ病自己スケールを用いた産後健診での産後うつ病のスクリーニング．北産婦誌 2006；50：20-24.
2）山野修司．体外受精の過排卵刺激．産婦人科におけるホルモン療法の実際，青野敏博編，永井書店，大阪；1994：pp116-122.
3）Coates BJ, Broderick TL, Batia LM, Standley CA. MgSO 4 prevents left ventricular dysfunction in an animal model of preeclampsia. Am J Obstet Gynecol 2006；195：1398-1403.
4）Hug E, Brown L, Erdmann E. The ouabain receptor in the myocardium and conduction system of the sheep heart. In : Cardiac Glycosides, Erdmann E, Greeff K, Skou JC ed., Springer Verlage, New York；1986：pp61-68.

8）英文投稿ならびに，英文抄録に関して以下のことに留意する。
1）英文は必ず専門家の校正を受けて，証明書を添付する。
2）校正業者に依頼する場合は筆者が自身で依頼するか，要望があれば本学会事務局が連絡先を紹介する。いずれの場合も費用負担は筆者自身である。

原稿の採否　原稿の採否は編集部委員会より委嘱された査読者の意見をもとに，編集部委員会において決定する。また，原稿は査読者の指摘事項にしたがって，加筆，削除，修正などを求めることがある。

著作権　本誌に掲載する論文の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権・二次的著作物利用権は北海道産科婦人科学会が保有する。

校正　著者校正は，原則として初校において行う。

掲載料　論文1編につき10,000円（内税）を徴収する。ただしこれにはPDFファイルデータならびに別刷り30部の費用を含む。別刷りの追加印刷は投稿者の実費負担とする。

原稿送付先　原稿はソフト名（バージョン名も）を明記しCDR等にて郵送，あるいはメールでの投稿とする。当誌に掲載希望の場合は，査読制度を取り入れているため，**発刊前年の11月30日までの投稿を対象とする**。発刊年3月1日時点で査読中の論文は，発刊年の本誌には掲載することは原則できない。

〒060-8638　札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学大学院医学研究科産婦人科学教室内
北海道産科婦人科学会事務局
メールアドレス：hokusamp@med.hokudai.ac.jp

平成23年10月16日改定
平成26年 8 月17日改定
平成29年 3 月26日改定
平成30年 4 月 1 日改定
平成31年 4 月 1 日改定

Presented by Medical*Online

北海道産科婦人科学会雑誌　投稿チェックリスト

投稿規定に準じて記載されているか確認のため，チェック欄にレ点（☑）をいれてください。
本文，英文の証明書とともに，本投稿チェックリストを添えて提出ください。

□　北海道産婦人科学会会員である。
□　本論文は，未発表論文であり，二重投稿論文ではない。
□　論文中の数字は，算用数字を用い，規定に準じた記載である。
□　表紙の記述は，表題，所属，共著者名（日本語，英語）である。
□　２頁目に概要（邦文800字以内）とキーワード(日本語５つ以内，英語３つ以内)がある。
□　３頁目に英文抄録200語以内（double spaceで入力）されている。
□　４頁目以降に諸言，研究（実験）方法，研究（実験），成績，考案，文献の順に記載されている。
□　略語は，初出時に正式語を付けている。
□　図表を他誌，他書より引用する場合（著者自身の既発表も含む），必ず出典を明示し投稿規定の記載に従い明記している。
□　図表にはタイトルおよび説明を記入している。
□　図表の説明は，必ず和文とし，図表の英文も原則として和訳している。
□　図表は，１枚ずつ別紙になっている。
□　本文中での引用部位の右肩に文献番号を付けている。
□　引用文献の記載は，投稿規定に準じ記載している。
□　英文投稿ならびに英文抄録は，専門家の校正を受け，証明書を添付している。
□　本論文は，倫理委員会の審査が必要かどうかを確認している。
　□倫理委員会審査有り　　□倫理員会審査必要なし
　倫理委員会の審査を受けた場合，審査（申請）先，審査（申請）番号を記載ください。
　倫理委員会の審査を受けた施設名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　倫理委員会の審査（申請）番号　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□　共著者内の指導医医師による内容確認と下記署名を戴く。

（下記は，直筆で記載ください。）
作成日　　年　　月　　日
執筆者（提出者）名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
確認した日付　　年　　月　　日
責任著者名（筆頭著者が専門医取得前の場合は指導医）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（編集委員会記載箇所）
編集部確認日　　年　　月　　日

切り取り線

Presented by Medical*Online